

## 令和5年度 第1回 子ども・子育て未来会議 議事録（要旨）

【日 時】 令和5年（2023年）7月11日（火）午後1時30分から3時

【出席委員】 池村委員、金森委員、立花委員、小山委員、新田委員、山田委員、城委員、山口委員、児玉委員、鈴木委員、川邊委員、奥村委員、井上委員、大黒委員、尾上委員、名田委員

【欠席委員】 白鳥委員、水谷委員、菅沼委員

【事務局】 こども未来応援部中村部長・吉川次長、教育部今井部長、幼児施設課谷課長・福山参事、こども子育て応援課古谷主幹、家庭児童相談室三日月室長、みくも子ども家庭総合センター入船センター長、子ども政策課松山主幹・北岑主事

### 【事 項】

1. 開会
2. 委員・事務局紹介
3. 湖南省子ども・子育て未来会議の説明
4. 議事
  - 1) 会長・副会長の選出
  - 2) こども関連計画について
  - 3) 部会の設置について
  - 4) 特定教育・保育施設、特定地域型保育施設の利用状況について
  - 5) 幼保連携型認定こども園 HOPPA 石部利用定員について
  - 6) 今後のスケジュールについて
5. 閉会

### 【議 事 録】

1. 開会
  - ・市長挨拶
  - ・委嘱状伝達
2. 委員・事務局紹介
  - ・会議の成立  
委員 19名中 16名の出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告
3. 湖南省子ども・子育て未来会議の説明
  - 事務局 資料1により説明
4. 議事
  - 1) 会長・副会長の選出  
会長 奥村明委員

副会長 井上ひとみ委員

2) こども関連計画について

事務局 資料2により説明

会長 今までの子ども・子育て支援事業計画より内容がかなり増える。ここにいる教育部、こども未来応援部だけではなく、健康福祉部も関係するような内容が出てくるように思われる。委員から質問や意見はあるか。

委員 この計画はどのような日程で誰が進めようとしているものか。

事務局 計画の策定については、今年度調査を行い、次年度に策定を進めていくこととなる。事務局で骨子案を作成し、未来会議や外部へのヒアリング等でご意見をいただきながら調整していく予定である。

委員 2年かけて計画を策定していくということか。策定した後についてどうなるのか、ということを知った上で色々と協議していきたい。策定した後、誰がどのような行動をするのかということのイメージをご説明いただきたい。

事務局 計画を作りっぱなしというわけにはいかないの、PDCAサイクルにより毎年進捗を確認して、未来会議でご報告させていただく。ご意見をいただき、修正しながら5年間の計画を進めていくことになる。

委員 誰がPDCAを進めていくのか。

事務局 すべての計画がそうであるように、行政がやること・市民がやること・関係機関がやることを細かく計画のなかで方針を挙げさせていただくことになると思う。それを基に湖南市の方向を示すなかで、それぞれの立場で何がやっていけるのか、その進捗管理については事務局でまとめさせていただき、本会議に諮らせていただくという流れになる。誰が実施するのかについては、湖南市に関わるすべての方というご理解でお願いしたい。

委員 子どもの貧困対策の調査対象は小中学生となっているが、生活の安定に資するための支援などは、子どもへの調査だけではわからないことも出てくると思う。子どもだけでは読み取れない部分であったり、声を上げにくいシングルマザーであったり、色々な立場の方がいらっしゃるの、少し調査対象を広げた方がいいのではないか。

事務局 ご意見を踏まえて検討させていただく。

委員 こども基本法第11条で子どもの意見を聴くということを書かれているが、具体的にどのようにしていくつもりか。

事務局 子どもの課題や年齢など幅広いので、どのようなテーマでの投げかけをしていくか考えないといけないが、できるだけ色々な子どもの意見を聴いていきたい。SDGsカレッジや青少年育成学区民会議など、既存の団体と連携できればと考えている。

会長 子どもの集まる場としてどのような場があるのか、委員からもまた提案よろしくお願

3) 部会の設置について

事務局 資料3により説明

会 長 部会を設置するという事について特に異論はないかと思うが、どなたが部会員となるかについて、事務局の案があれば提示いただくということによろしいか。

事務局 部会設置についてお認めいただきありがとうございます。まずは部会長だけお願いし、部会長と相談しながら部会員を順次お願いしていきたい。また、会長・副会長は部会員ではないが、必要に応じてアドバイザー的に参加いただくという形でお願いしたい。部会長については、行政や地域を始めとした様々な団体と連携を取りながら、地域福祉の中心を担っていただいている社会福祉協議会の尾上委員にお願いしたい。

会 長 事務局から部会長についての提案があったが、皆さんよろしいか（異議なし）。

#### 4) 特定教育・保育施設、特定地域型保育施設の利用状況について

事務局 資料4により説明

委 員 隠れ待機児童は何人か。希望を出したが、その園に入れないで実際には待っている人は何人いるのか。

事務局 4月時点、一時調整の段階で待機児童に入らない特定希望の方が21人。21人のうち、求職活動の方が11人、仕事で希望の方が9人、妊娠出産で希望の方が1人、いずれも特定園を希望のため、待機児童に含まれない児童となる。5月以降途中入所検討会を行い、7月調整が終わった段階で待機児童が2人、保留児童が28人となっている。この保留児童28人は特定希望となっている。この30人のうち最も多いのが1歳児になる。0歳児が9人、1歳児が12人、2歳児が8人、3歳児が1人、合計30人となる。空きがあり次第案内していくこととなる。

委 員 満3歳になってすぐの1号認定の見込みはわからないのか。幼稚園だけでなく、認定こども園でもこれができるのか、そのあたり教えてほしい。

事務局 令和5年度満3歳児保育をしているのは2施設。園が2歳児の保護者と話し合っ都合のつく方は満3歳児保育に移行している。

事務局 3～5歳児については、保育料の無償化があるので、3歳児で入れば無償、2歳だと保育料がかかるということで、保護者が保育園に預けるかどうか悩むところ。満3歳児で受けてもらえると、保育料無償化に該当してくるので、そういうことも考えながら保護者の方も選ばれていると思う。昨年度から2園実施していただき、子育てしやすい環境を整えていただいていると感じている。

#### 5) 幼保連携型認定こども園 HOPPA 石部利用定員について

事務局 資料5により説明  
(意見等なし)

#### 6) 今後のスケジュールについて

事務局 資料6により説明

委 員 今の案では高校1～2年生がアンケート対象から抜けている。

事務局 どういった対象、どういった内容のアンケートにするかご意見いただきながら調整し

会 長                    ていきたい。  
                             長期になるが、委員の皆様にはご検討よろしくお願ひしたい。

5. 閉会

事務局                閉会挨拶

【15時終了】